



5歳Sくんのママ

「もうひとつのおうち」に息子が通い始めたのは2歳2ヶ月の時です。1歳半健診で発語がないこと・指さしがないことを指摘された時は、成長と共に追いつくだろうとそこまで深刻に捉えていませんでした。2歳を迎えても発語はほとんどなく、区の相談窓口で周囲への興味の低さを指摘されて初めて、それまで何となく心のどこかで感じていた育てにくさが急に実感に変わりました。インターネットで検索しては不安になり、身体が思うように動かなくなるほど塞ぎ込んでいた当時のことを思い出すと、今でも胸が締め付けられる思いです。

区の運営している児童発達支援を勧められましたが、希望している頻度でレッスンが受けられないことがわかり、いくつもの民間施設を調べては問い合わせし見学させてもらいました。

そうしたなか主人が「もうひとつのおうち」にたどり着き、すぐに体験に行きました。息子の1つ上の年少さん以上が通う5名のクラスでは、自分でコップ袋を掛けたり活動の準備をして指示を聞いたりする自立した様子にとっても驚きました。りさせんせいはお会いしてすぐに私たち親でも理解していなかった息子の性格や、斜視の可能性があること、低緊張気味であること等にすぐに気づき指摘してくださいました。その時は息子が多くの課題を抱えていることがわかりショックでしたが、だからこそ言葉や身体、こころ、身辺自立等、様々な専門分野の先生が毎日3時間かけて携わってくださる「もうひとつのおうち」で息子の成長を見守りたいと感じ入所を決めました。

プレスクールではせんせい方が愛情をもって接してくださり、一つ一つ意味のある働きかけを丁寧にしてくださる様子に感心しました。共有サイトに





アップされる毎日の活動記録では、1人1人をととてもよく見て丁寧に記録してくださるので、日々の成長を感じられたり自宅での接し方において参考になることが多く毎日の楽しみになっていきました。また、一緒に通うママ達と普段他では話せないような子育ての悩みを共有する中で、後ろ向きな気持ちが少しずつ晴れていき自分自身も救われていく思いでした。

通い始めて2か月後、息子は指さしをするようになり、徐々にアイコンタクトも図れるようになっていきました。私達を親だと理解しているのかも分からなかった状態から、愛着を示してくれるようになり心が通じていく気がしてとても嬉しかったです。半年経過した頃から徐々に言葉が増え自分の気持ちを表せるようになるにつれて癩癩も落ち着いていきました。全くやらなかった真似っこや手遊び歌も次第に大好きになっていきました。

また、自分で正しく食具をもって食べたり着替えることやオムツが外れることなど身辺自立の大切さにも気づかされました。自分でできることが増えていく度にせんせい方がこころから喜んで褒めてくださる体験を重ねていくなかで、本人も大きな自信につながっていったようです。

「もうひとつのおうち」に通い始めて2年10ヶ月がたち5歳になった今の息子は、表情がとても豊かになりいたずら好きなお調子者になりました。せんせいやおともだちが大好きになり自分から一緒に遊ぶ様子も見られるようになっていきます。

まだ様々な課題はありますが、せんせい方に都度相談しアドバイスしていただきながら少しずつ息子の将来に希望が持てるようになりました。2歳のあの時「もうひとつのおうち」に通う選択をして本当によかったと思っています。息子と私たちの安心できる居場所を作ってください、成長を一緒に見守ってくださるせんせい方に心から感謝しています。

